

ENISHI 2023

令和五年 十二月四日(月)

三越劇場(日本橋三越本店本館6階)

開演18:30(開場18:00)

第三回

別会

答口祐和乃會

一、清元 北 州
二、地唄 黒 髪
三、長唄 越後獅子



演奏出演者

清元

清元 清美太夫

連中

清元

清元 齋 寿

連中

長唄

松永 忠次郎

連中

地唄

川瀬 露 秋

社中

鳴物

堅田 新十郎

社中

笛

福原 寛

美術

山中 隆 成

照明

千原 悦 子



MITSUKOSHI
三越劇場

〒100-4001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店本館6階

ENISHI 2023



今回、約四年ぶりとなるENISHIシリーズ第三回をご覧ください。今年是我が独立して20年目の節目の年ということもあり、別会 谷口裕和の會と題し、要素の異なる三つの演目を素踊りにて踊らせていただきます。また、会場の三越劇場がある日本橋三越様も今年で創業350年。深きご縁を感じております。この数年で世の中はがらりと変わりましたが、日本の良き文化を未来に繋いでいくことの大切さや、その思いに変わりはありません。皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

谷口裕和

前回の公演



演目

清元 北州

清元の名曲としてよく知られた御祝儀舞踊の最高峰と言える作品です。吉原を舞台に移り変わる四季折々の情景を、さまざまな登場人物を通して表現します。侍や花魁、吉原通いの客を乗せる馬子や若い遊女など、数十人の登場人物を美しい旋律にのせ、ひとりの踊り手が踊り分けます。内容としては難解な曲かもしれませんが、全体を通して漂う古典の品格をぜひ感じていただければと存じます。

地唄 黒髪

江戸時代に流行った日本舞踊の名曲のひとつ、黒髪の美しい女性の美しさと哀愁を描いた作品です。戻ることのない恋人を想い続けながら、一人寝る女の寂しさや切なさ、嫉妬心、そして女性としての強さを表現しています。上方（関西）のしっとりとした上品な世界観を、着流して舞わせていただきます。

長唄 越後獅子

文化8年（1811）に三代目中村歌右衛門が中村座で初演した人気曲です。舞台は今回の会場がある日本橋。農閑期に越後から江戸に大道芸「越後獅子」を披露するために出稼ぎに来る青年が主人公で、獅子頭をつけ太鼓を打ち鳴らしながら、しみじみと越後名物について唄ったり、浜唄や手踊りを披露します。全体を通して軽快なリズムが特徴的で、特に最後の長い布晒しを振りながらの踊りが見どころです。

概要

日程 2023年 12月4日(月)
場所 三越劇場 (日本橋三越本店 本館6階)
開演時間 18:30 (開場18:00)
御観劇料 10,000円 (全席指定席)

Webチケット予約 前売り開始: 10月17日(火)

E+ (イープラス) <https://eplus.jp/fumibishi/>



制作・お問い合わせ

谷口裕和事務所 tel. 080-5807-0689



デザイン: 田久保 彬 / 写真: 田口 真佐美 / 題字: 川邊りえこ / 後援: 高山市 / 協力: 菅風会